

国立山口徳地青少年自然の家の本年度第 1 回施設業務運営委員会が開催されました。

2000 年初頭、西日本で初めて建設された Project Adventure の施設を使った TAP(Tokuji Adventure Program)が今でも集客を果たしていると聞いてうれしくなりました。

特にロープコースはハイリスク、ハイリターンの活動ではありますが、コロナ前より多くの学校や団体が積極的に活用していることはありがたいことです。利用者がいなくなり、施設が廃止になれば、OBS・PA の教育手法を基盤とする仲間づくりの手法が途絶えてしまいます。

今の時代に合った形の様々な事業が展開される中、体験活動をいかに言語化し、共有し、日常生活の中で活用（応用）していくのかが問われています。

